



なつやすみの美術館 8 MOMAW Summer Museum Project 8

# タイムトラベル TIME TRAVEL

美術館で時間の旅に出かけよう。



どんどん過ぎていって戻ってこない時間、

これからやってくる時間、

2018年7月7日[土]ー9月2日[日]

柴川 敏之(SHIBAKAWA Toshiyuki / 1966-)《出現Ⅱ. 40041120(2000年後に発掘された絵画の化石:モネ)》2004(平成16)

プレス向け解説会のご案内 7月6日(金) 14時から

プレス関係者を対象に内覧会を実施いたします。  
ぜひ、この機会を利用してご取材いただき、「なつやすみの美術館 8 タイムトラベル」  
の魅力を発信していただきますようお願い申し上げます。

和歌山県立近代美術館

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337

E-MAIL [moma\\_w@future.ocn.ne.jp](mailto:moma_w@future.ocn.ne.jp) WEB <http://www.momaw.jp/>

## なつやすみの美術館 8 タイムトラベル

2018年7月7日(土)～9月2日(日)

時間はどんどん過ぎていきます。この文章を読んでいる間にも、時間は過ぎていってしまっ、二度と戻ってきません。あらゆるできごとが時間の中で起こり、時間とともに過ぎ去ります。過ぎ去った時間へ、そしてまだ来ない時間への旅にあこがれる人は多いでしょう。実際には時間の中を旅することは実現していません。けれども作品の中には、過ぎ去った時間がとどめられ、まだ体験していない時間が描かれています。作品を通して時間の旅に出ることができるのです。作品の中には自分が生まれるずっと以前に作られたものもありますし、さらに昔のできごとを形にした作品もあります。作品そのものの中にも、作家の生涯や作られた時間など、いろいろな時間が重なっています。この展覧会ではいろいろな作品の中に、宇宙の時間、歴史の時間、自然の時間、人間の時間、時間そのもの、制作の時間、死後の時間、遡る時間、ちょっと先の時間を見つけていきます。

今年のなつやすみは、美術館で時間の中に飛びこんでみましょう。時間のあり方を探し、時間について考え、作品と時間との関係を読み解きながら、作品を見ていきましょう。



1. 吉田 政次 (YOSHIDA Masaji / 1917-1971)  
《三とデモの時代 No.1》  
1968 (昭和43) / 木版、紙/95.4×74.0



4. 中村 不折 (NAKAMURA Fusetsu / 1866-1943)  
《白頭翁》1907 (明治40) / 油彩、キャンバス/  
200.2×136.6 / 個人蔵

2. 川口 軌外  
(KAWAGUCHI Kiga /  
1892-1966)  
《顔》1918 (大正7) /  
油彩、板/15.4×22.4

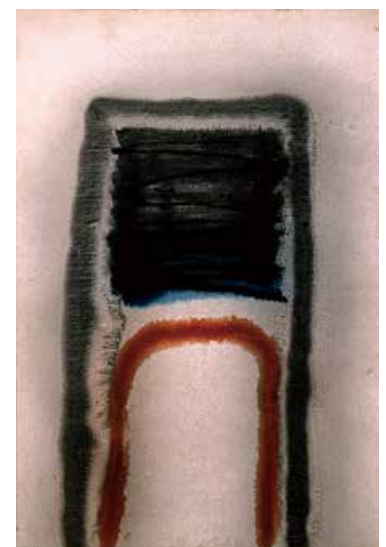
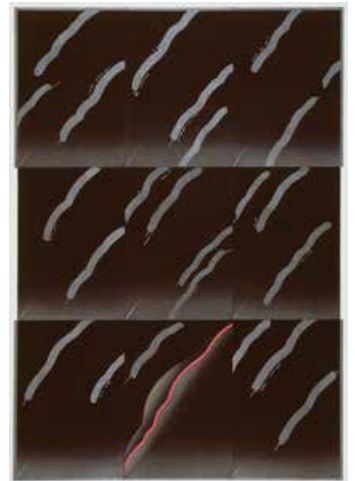


5. 白髪 一雄 (SHIRAGA Kazuo / 1924-2008)  
《平治元年十二月二十六日》1966 (昭和41) /  
油彩、キャンバス/273.0×363.8



6. 吹田 文明  
(FUKITA Fumiaki /  
1926- )  
《銀河の創世》  
1982 (昭和57) /  
木版、紙/74.4×63.4

3. 黒崎 彰 (KUROSAKI Akira / 1937- )  
《時の軌跡》1981 (昭和56)  
/ 木版、紙/89.8×62.0



7. 津高 和一 (TSUTAKA Waichi / 1911-1995)  
《アシタハキノウニナル》1964 (昭和39) /  
油彩、キャンバス/193.0×129.8

掲載用画像については広報担当にお問合せ下さい。

※文字のせ、トリミング等のご遠慮ください。

## 開催概要

- 会場 和歌山県立近代美術館 2階展示室  
会期 2018年7月7日(土)～9月2日(日)  
開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)  
休館日 月曜日(7月16日は開館。7月17日は休館。)  
観覧料 一般510(410)円、大学生300(250)円  
\*( )内は20名以上の団体料金  
\*高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料  
\*毎月第4土曜日(7月28日と8月25日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

## 関連事業

### ●ワークショップ「2000年後の和歌山を発掘しよう！」

2000年後の和歌山はどうなっているでしょう？4018年にタイムトラベル、未来人になって2018年の和歌山を「発掘」します。

【日時】7月29日(日)13時～16時

【講師】柴川敏之(美術家・就美短期大学教授)

【主催】和歌山県／一般財団法人和歌山県文化振興財団

【企画・運営協力】特定非営利活動法人和歌山芸術文化支援協会

【申込】7月9日(月)14時～

和歌山県民文化会館「アート・ワークショップ」係(073-436-1331)まで。



▲ こどもギャラリートーク 昨年度の様子

### ●ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

【日時】7月8日(日)、16日(月・海の日)、9月2日(日)

いずれも14時～(展示室にて、要観覧券)

### ●だれでも美術館部(だれでも参加できる作品鑑賞会)

【日時】8月11日(土・山の日)、19日(日)

いずれも14時～(展示室にて、要観覧券)

### ●こども美術館部「バック・トゥ・ザ・???」(隔月開催の小学生を対象とした鑑賞会)

【日時】8月25日(土)11時～11時45分(10時20分から11時までに受付、同伴される保護者は要観覧券)

### ●たまごせんせいと「わくわくアートツアー」(和歌山大学の学生による鑑賞ガイド)

和歌山大学美術館部の学生が、鑑賞をサポートします。

【日時】8月14日(火)～18日(土)、21日(火)～23日(木)

各日11時～、13時30分～、15時～の3回



たません

▲ たまごせんせいと「わくわくアートツアー」  
昨年度の様子

### 【同時期開催】

コレクション展 2018-春夏

特集 院展の画家たちⅡ／特集 庭園の眺め 高橋力雄の木版画

【会期】4月28日(土)～7月8日(日)

【会場】1階展示室

コレクション展 2018-夏秋

特集 院展の画家たちⅢ／特集 鈴木昭男 音と場の探求

【会期】8月4日(土)～10月21日(日)

【会場】1階展示室

### 和歌山県立近代美術館

学芸担当：奥村泰彦 広報担当：島

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>